

三重県公共事業統合データベース（第8期）構築・運用保守業務委託（案）に係る情報提供依頼（RFI）の質問回答

※ いただいたご質問は、今回のRFIに対してご質問をいただきました各協力会社に記入しています。

令和8年5月28日

No	該当資料名・頁	質問内容	回答
1	全体	今回のRFIの御見積の目的（内容）ですが、調査や金額を見積もるため緻密なものだと相当時間がかかります。回答した見積金額は精度が高いものが必要でしょうか。	今回の情報提供依頼（RFI）の趣旨については、令和9年度当初に発注を予定している業務委託に係る概算予算額を把握するために、各ベンダー様に対して情報提供依頼を実施しております。そのため、発注業務委託資料（案）に対して、概ねの概算額をご回答いただけますと幸いです。 また、今回の情報提供依頼でいただいたご意見は、正式な業務委託発注の参考とさせていただきます。 今後は、三重県庁の関係部局と協議の上、正式な発注委託業務にあたって一部仕様を変更する可能性があります。
2	別添資料（2）：全体仕様書（案）P3	3.2.1（イ）：「台帳類に関しては新しいシステムへのデータ移行はしないが、現行システムのデータを引き継げるように適切なデータ移行作業を行う。」とあるが、どのような作業を行うのか。	各業務委託、各工事別に発注図や完成図、工事関係書類、写真データなどを現行の三重県公共事業統合データベース（以下、統合データベースシステムと言います）に登録しています。それらの関係データを次期システムに取り込みをしていただくことを想定しています。具体的には平成19年度頃から電子データが登録されているため、それらのデータを移して次期システムで活用することを想定しています。
3	別添資料（2）：全体仕様書（案）P4	3.3 委託期間：契約の締結の日から令和16年4月28日とあるが、この日付で問題ないか。	ご意見に基づき再確認したところ、令和15年4月28日の誤りです。システムの運用、保守期間は約5年間を想定しています。次期統合データベースシステムの次のシステム（第9期）を構築する期間も考慮して5年間に加えて1か月間の余裕期間を考慮しています。（合計約5年間）あくまで想定のため、今後の状況によって変更する可能性があります。
4	別添資料（2）：全体仕様書（案）P4	3.4運用までのスケジュール：「契約日～令和10年2月 システム開発、システムデータ移行」とあるが、システムデータ移行に時間がかかると思われる。オンラインのシステムを構築後からの作業になると思われるため、システム構築後の作業になるので物量的に令和10年2月は難しいと思われる。2月以降システム移行でも問題ないか。	システムデータ移行については、現行（第7期）の統合データベースシステムの協力会社様との打合せを行い、次期（第8期）統合データベースシステムのシステム構築次期しだいでスケジュールの変更が想定されます。そのため、令和10年2月以降のデータ移行で支障ありませんが、令和10年4月1日までにデータ移行を完了していただきたいと考えています。（過去の成果品データが閲覧できない期間を作らないため）
5	別添資料（2）：全体仕様書（案）P6	4.4.1利用者向け研修：研修会場、日程調整等は発注者にて用意とあるが、時期の想定はどのように考えているか？	現行システムの研修は、6月、10月で合計3回（3日間）の研修を実施しています。次期統合データベースシステムでも同様の時期、回数での実施をしたいと考えております。 また、次期統合データベースシステムの初年度（令和10年度想定）については、別添資料（4）（仕様書-2）P6 3.3研修に記載をしている通り、発注者向け10回（1回2時間）、工事等受注者向け28回（1回1時間）を想定しています。これらは録画などによって回数を減らすことも可能と検討していますが、現時点の回答としては、この内容のとおり実施した場合の概算見積書の提出をご提供いただけますと幸いです。
6	別添資料（2）：全体仕様書（案）P7	4.4.3 システムデータ移行等：（ア）で「データ取出しは現行システム運用保守業務受注者が行い」とあるが、どういう状態でデータ提供されるのか？（HDD等）	現時点では、次期システムの受託者と協議の上で決定したいと考えております。電子成果品のデータも大容量となるため、必要があれば、移行用のハードディスクの購入を検討する必要があります。（現時点で具体的な方法は未定）
7	別添資料（2）：全体仕様書（案）P9	5.1.4 機器等の納入方法：（イ）でIDCと調整と書かれているが、IDC（所定）を利用するのか。	ご意見に基づき記載を修正します。現時点では、クラウド方式による利用を想定していますので、その想定で諸費用を考慮した概算見積書のご提出をお願いします。（各ベンダー様のパッケージシステムの違いもあるため、IDC利用の可能性もあります。） <注記> IDC：Internet Data Center（インターネットデータセンター）の略称（データセンターと同じ意味）。顧客の持つサーバーを預かり、インターネットの接続回線の提供やサーバー自体の保守、運用のサービスなどを提供する施設。
8	別添資料（2）：全体仕様書（案）P10	5.4 撤去作業：現行システム運用業者が撤去とあるが、現行データの移行作業が次期統合データベース構築後の作業で期間内にできない場合は、延長等行うか、NAS等に移し替え後提供が可能か。	ご質問をいただいた内容は、現行システムの受託者様と次期システムの受託者様との協議によって最終的な時期を決定したいと考えています。現実的に可能な時期・内容で協議の上、最終決定させていただきます。

No	該当資料名・頁	質問内容	回答
9	別添資料(2) : 全体仕様書(案) P10	8.2 既存ソフトウェアのライセンス状況 : WindowsServer2022ユーザーCALとあるが、こちらは2031年(R13)10月でサポート終了予定である。期間の令和16年3月までの場合、WindowsServer2025であれば保守期間2034(R16)11月までサポート期間がある。2022を採用だとOS移行を行う可能性がある。	こちらは、既存ソフトウェアライセンスの状況となります。現在の三重県においてはWindowsServer2022のOSを用いているため、契約期間中にOS移行(バージョンアップ)を想定した内容で概算見積書の提出をお願いします。
10	別添資料(4) : 特記仕様書(システム構築)(案) P6	3.3 研修 : 発注者1400人/10回、受注者2800社/28回となっているが、会場に行く必要はあるか。(現地での集合形式での研修会開催であれば、会場までの交通費が発生する)	オンライン形式での研修会の開催も可能と考えており、初日の研修会を録画するなどによって、開催回数を減らすことも可能と考えております。今回のRFIに係る回答(概算見積書)については、全て集合形式で現地開催をした場合を想定してご回答ください。(※正式な発注の際には変更する可能性があります。)
11	別添資料(5) : 全体仕様書(案)機能一覧表 全体	機能表の「○」の部分に対しては、採用(システムに搭載)しないといけない項目だと思うが、採用(搭載)できない場合、備考の代替案でも搭載できない場合、どうすればよいか。	原則は、現行システムと同等以上の代替機能で補完していただきたいと考えております。どうしても、難しい場合は、詳細な協議を行い、それに代わる方法でご提供いただきたいと考えております。しかしながら、ソフトウェアや貴社のパッケージシステムの関係上、どうしても難しい場合はやむを得ないと考えます。
12	別添資料(5) : 全体仕様書(案)機能一覧表 P1/6	8.「成果品登録機能」位置情報を地図上で表示(確認)する : 位置情報は、次期(8期)から使用しない。とあります。「地図の作成」機能については機能廃止はわかるが、成果品の検索の位置情報は扱わなくてよいか。	次期統合データベースシステムの中で位置情報を扱うことは想定していませんが、三重県のQGIS(高機能な三重県の位置情報システム)上で位置情報を表示することを考えており、そのシステムとの連携を検討中のため、当該機能一覧表を正式な発注の際には修正させていただきます。(予定) また、パッケージシステムで位置情報が検索できる機能を設けている場合、それらの機能を削除することまで求めています。
13	別添資料(5) : 全体仕様書(案)機能一覧表 P2/6	項番20~23 : 備考欄で「工事等受注者の成果品登録内容に誤りがあった場合、警告機能等もあると望ましい」とあるが、これはオンラインチェック機能があればよいということか。	いただいたご意見のとおり、電子成果品のオンライン登録時に警告機能があると望ましいとの見解で支障ありません。現在、三重県では電子成果品のチェックプログラムを委託業務にて作成しており、今後もこれらのチェックプログラムを活用していく予定ですが、基本的な誤入力などのチェック機能があると望ましいと考えております。
14	別添資料(5) : 全体仕様書(案)機能一覧表 P3/6	28 : 「全文検索時にヒットしたページに検索一覧からジャンプでき、かつ、内容確認後一覧に戻ることができる」とあるが、現行システムには全文検索はないと思うが必要か。	いただいたご意見に基づき、部分検索機能があれば電子成果品の検索に支障ないと思われるため、「全文検索機能」⇒「部分検索機能」に修正します。
15	別添資料(6) : 特記仕様書(システム運用保守編)(案) P4~5	2.2.1.(工)システム運用時間④ : 三重県開庁日8:30-17:30となっているが17:15ではないか。(オ)は17:15となっている。どちらが正しいか?	いただいたご意見のとおり、三重県庁の開庁日の業務時間は、08:30~17:15となります。そのため、不整合な箇所を修正します。
16	別添資料(6) : 特記仕様書(システム運用保守編)(案) P6	2.3.3 システムの運用・稼働確認 : 「受注者は三重県開庁日において、リモート保守端末を利用してシステムにアクセスし…」とありますが、オンライン電子納品の場合、形態によっては不要の可能性はある。	受注者発注者間の個別協議の中で、システムの運用稼働確認が不要となる場合、協議の上、取扱いを決定させていただきます。
17	別添資料(6) : 特記仕様書(システム運用保守編)(案) P6	2.3.4~2.3.6 : 現行のようなオンプレミス形態の場合は必要かもしれないが、クラウドの場合は不要か。	現行システムと同等以上となるよう記載しています。2.3.6不正アクセス管理業務の場合、次期統合データベースがログインIDとパスワードでのログインとなれば、アクセス記録の確認まで不要となる可能性があります。
18	別添資料(6) : 特記仕様書(システム運用保守編)(案) P7	2.4.2利用者向け研修の支援(イ) : 研修の実施3回/年とあるが、地図の作成機能や災害箇所図の作成機能が無くなることから、研修の実施回数が減ると思われる。	ご指摘のとおり、研修の実施回数が減る可能性があります。今回のRFIについては、仕様書のとおり実施した場合と想定した概算見積書の提出にご協力をいただけますと幸いです。
19	別添資料(6) : 特記仕様書(システム運用保守編)(案) P8	2.6 データ移行業務 2.6.1~2.6.3 : データストレージに新設又は交換するとあるが、これは前業務の事柄ではないか。以下2.6.3まで	次期統合データベースの構築方法によって、変わる可能性があります。データサーバ機器をデータセンターに置いている状態が現行統合データベースの運用になりますが、次期統合データベースは、三重県庁関係期間以外の工事等受注者がオンライン電子納品登録が可能となるようクラウドストレージで運用する可能性が高いことを想定しています。当課で想定していない改善点があるかもしれないため、現時点ではこの記載のとおりとします。
20	別添資料(9) : 見積書	提出は、下記書類のみでよろしいでしょうか。 ・見積(別添資料(9)「見積書様式」に従う)	今回の情報提供依頼(RFI)は、予算額を把握するためを主目的としたものとなります。そのため、概算見積書として別添資料(9)に記入し、提出していただければ支障ありません。

No	該当資料名・頁	質問内容	回答
21	別添資料（9）：見積書	見積書提出にあたり、指定書式（別添資料(9)「見積書様式」）に会社名及び社印欄がありません。別途表紙を記載した上で袋とじを行うか、指定書式に追記することで対応することよろしいでしょうか。	ご意見のとおり、別途貴社の表紙を添付し押印していただくか、欄外に貴社の記名と押印をいただくことで支障ありません。郵送の場合、遅延等も考えられるため、取り急ぎ、電子データをメールにて送付いただけますと幸いです。
22	別添資料（2）：全体仕様書（案）P9	5.1.4 機器等の納入方法：（オ）フリーアクセス板の加工とは何でしょうか？	執務室やサーバ機器などを保管している室（三重県庁本庁舎）にフリーアクセスフロアを採用しています。そのため、機器の設置や配線などの設置をする際にフロアに加工を行う場合に事前協議して許可後に行ってほしい趣旨での記載となります。
23	別添資料（2）：全体仕様書（案）P10	5.4 撤去作業：受注者が具体的にどのような協力が発生するのでしょうか？	現在、データセンターに県所有サーバ機器を間借りしてデータ保管しているような状況です。データ移行が完了後に中身のデータ削除の協力やサーバ機器をリセット等する際に技術的なアドバイスやご協力をいただくことを想定しています。（予定）
24	別添資料3：全体仕様書（案）（現行システム（第7期）仕様）P4	2. 1システム方式：現行ご利用のユーザPCスベックの中に、サポート対象外のOSが含まれておりますが、今後も継続して利用されるのでしょうか？	サポート期限切れのOSを利用することは考えておりません。正式な委託業務発注までに記載内容を精査の上、仕様書を修正させていただきます。
25	別添資料（2）：全体仕様書（案）P10	8. 1 既存ネットワークの状況：現行ネットワーク構成において、業務系セグメントとインターネットとの通信を不可とされており、原則としてインターネットとの接続を必要としないシステム構成とすることと記載されております。三重県様は2023年7月よりβ'モデルに移行されていると認識しており、インターネットからのクラウド方式での構築でも問題ないでしょうか？	ご意見のとおり、オンライン電子納品機能を備えることを想定しているため、インターネットを利用したクラウドストレージ方式での構築も想定しているため支障ありません。建設系DXシステムも日進月歩で進歩していると考えているため、他にも良い方法があれば、委託業務発注に取り入れたいと考えております。
26	別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P4	3.業務内容 3.1.3 利用範囲：成果品保管管理サービスをご利用いただく職員様の機器(2,000台程度)の設置場所として、三重県庁様の他、地方機関や関連事務所をご記載いただいておりますが、上記拠点にてサービスをご利用される場合はインターネットの利用が可能となりますでしょうか。	職員端末（一人一台パソコン）については、職員一人につきパソコン一台の割り当てがあり、そのパソコン利用を想定しています。現在もインターネット利用が可能となっております。当該業務受託者様のほうでの作業等の発生はありません。
27	別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P4～	対応が必要となる保管成果品の納品要領を教えてください。	三重県ホームページに掲載しております「三重県CALS電子納品運用マニュアル」をご参照ください。 URL： https://www.pref.mie.lg.jp/common/06/ci600003649.htm
28	別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P4～	今回の第8期調達においては、（LGWAN側ではなく）インターネット側に構築する前提で認識しておりますが、当該認識でよろしいでしょうか？現行システムが行政LGWAN内に構築されているとお聞きしているため、念のために確認させてください。	次期システムは、オンライン登録を想定しているため、現時点ではインターネット経由によるクラウド方式を想定しております。（別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P4 3.1.1システム構成 ①方式 に記載しています。）
29	別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P5	3.1.4 主な機能 ①検索機能：「位置情報で検索できる仕様とする」とあるが、「別添資料(5) 機能一覧表」には「位置情報は、次期（8期）から使用しない。」とあり、矛盾しているのではないのでしょうか。	位置情報を用いた地図表示は使用しない予定となっておりますが、位置情報（地名地番、住所など）から委託業務や工事を検索できる機能は残す予定です。そのため、特記仕様書を修正します。また、地図機能などが元々のパッケージシステムで設けている場合、それらの機能を削除していただく必要はありません。
30	別添資料（4）：特記仕様書（システム構築）（案）P5	3.2.1 現行システムからのデータ移行：データベースより移行データの情報を抽出する作業は受託者が実施することで良いでしょうか。その場合、データ抽出元のデータベース製品は何でしょうか(MS SQLServer、Oracleなど)。また、該当テーブルの仕様は公開していただけるでしょうか。	現行システムにつきましては、「別添資料（3）：全体仕様書（案）（現行システム（第7期）仕様）」をご参照ください。現行システムはヤマイチテクノ様で構築いただいている統合データベースシステムとなります。 また、現行システムの登録データの抽出する作業については、現行システムの受託者様にご協力をいただき、ご質問のあった内容を含めてご協議の上、作業方法を確定する方向で考えております。
31	別添資料（5）：全体仕様書（案）機能一覧表 P1/6	項番8：「位置情報は、次期（8期）から使用しない。」とあるが、位置情報に関する機能を有したシステムを導入しても良いでしょうか。	仕様書に記載の内容は、必須機能を一覧表で示したものであり、位置情報機能を有したシステムの導入を妨げるものではありません。 また、正式な業務委託の発注までに、その辺りも含めて検討の余地があると考えているため、三重県庁の関係部局と協議を進めた上で最終決定をすることを考えています。
32	別添資料（5）：全体仕様書（案）機能一覧表 P1/6	項番13：本機能は、公共工事進行管理システムと保管管理システム間の自動連携を意味するのでしょうか。	自動的な連携機能を必須とすることまで考えていません。公共工事進行管理システム自体も、5年に1回程度システム構築があり、その関係で自動連携を必須とすることは現実的では無いことが理由です。

No	該当資料名・頁	質問内容	回答
33	別添資料（5）：全体仕様書（案）機能一覧表 P5/6	項番64：本機能は、ブラウザのウィンドウ内で該当ファイルを表示するという意味でしょうか。その場合、プラグイン等のプログラムをブラウザ、またはPCにインストールすることで実現してもよろしいでしょうか。	当該機能は、次期統合データベースのシステム内でファイルを表示させて、電子成果品の内容を確認することを想定しています。 （例）工事特記仕様書のExcelファイルを表示するなど。 システムを作成している各ベンダー様のパッケージシステムが異なると想定されるため、ブラウザで表示させる、パッケージシステムのプログラムをインストールするなどの制限は設けない予定です。
34	別添資料（5）：全体仕様書（案）機能一覧表 P5/6	項番69：印刷対象の情報は何でしょうか。ブラウザの画面に表示された内容という認識でよろしいでしょうか。	ブラウザの画面に表示された内容となります。表示した電子成果品を手軽にその画面から印刷するイメージです。
35	別添資料（5）：全体仕様書（案）機能一覧表 P5/6	項番74：本機能は、公共工事進行管理システムと保管管理システム間の自動連携を意味するものでしょうか。	公共工事進行管理システムと保管管理システム（統合データベース）間の自動連携を意味するものではありません。電子成果品の登録漏れ等が無いように公共工事進行管理システムのデータとの照合確認をするイメージとなります。
36	（資料無し）現行システムの年間維持費用	現在ご利用中の保管管理システムの年間維持費用について、確認したく存じます。三重県電子調達システムで確認できませんでしたので、情報提供いただけるでしょうか。	入札情報サービスシステム（物件調達）令和6年度で確認ができます。案件名を「統合データベース」として検索して参照してください。
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			